

第142回海上交通システム(MTS)研究会 ご案内
”関西国際空港連絡橋衝突事故の考察(2nd)”
－走錨海難事故の防止に向けて－

141回例会では、走錨海難事故防止のための新たな航行ルール、当時の錨泊状況の考察、荒天避泊に関する運用面からの考察等を行うとともに、パネルディスカッションでは、不可抗力かヒューマンエラーかとの議論が白熱するなか142回例会に議論を引き継ぐ形となっている。

142回例会では、走錨事故例と防止、船舶保険関係、異常気象、当該事故の解析等の幅広い講演、考察等を行うとともに、本テーマに係る議論の集約を目指すこととしている。

当研究会としては、両例会での多様な議論を関西から発信することによって、走錨海難の事故防止に寄与できればと考えている。

<プログラム>

- 1.日時 令和元年9月19日(木) 13:15~17:25 (17:30~19:30情報交流会)
- 2.場所 神戸大学大学院海事科学研究科(神戸市東灘区深江南町5-1-1)
総合学術交流棟1階 梅木Yホール
アクセス：<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/fukae/index.html>
- 3.共催 神戸大学大学院海事科学研究科 国際海事研究センター・輸送システム科学研究部門
- 4.研究会次第
総合司会 副会長 澤井 弘保
会長 古莊 雅生
13:15~13:25 会長挨拶及び講演者紹介
13:25~14:05 油タンカー衝突(橋梁)事故発生過程の検討
海上技術安全研究所海難事故解析センター長 田口 晴邦氏
14:05~14:45 走錨事例と防止
日本船主責任相互保険組合ロスプリベンション部長 岡田 卓三氏
14:45~15:00 会務報告及び休憩
会務報告 幹事 寺田 政信
15:00~15:40 昨年の台風21号の気象状況と船舶・港湾の被害及び
地球温暖化による今後の気象変化と災害について
神戸地方気象台港湾気象官 小野 善史氏
15:40~16:20 走錨海難と海上保険の役割
東京海上日動火災保険(株)コマーシャル損害部部長 青木 隆太郎氏
16:20~16:30 小休憩
16:30~17:25 パネルディスカッション
講演者及び神戸大学大学院海事科学研究科教授 若林伸和氏、
神戸大学大学院海事科学研究科准教授 橋本博公氏
- 5.情報交流会 17:30~19:30 於：総合交流棟1階ホール
- 6.参加費 研究会(含む、資料、飲料)：会員1,000円、非会員3,000円(会員の紹介で会員同額)
情報交流会：会員・非会員 3,000円
- 7.問合せ先：神戸大学大学院海事科学研究科 国際海事研究センター・輸送システム科学研究部門
教授 古莊 雅生(ふるしょう まさお)
MTS事務局：Fax 078-431-4683/e-mail：office@mts-matrix.org

※参加申込みについては、例会、情報交流会それぞれについて出欠を明記し(会員紹介の場合は会員名を記載)、必ず事務局あてe-mail(推奨)又はFaxにて、**9月10日(火)迄**にお願いします。
様式は問いません。